



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 三光産業株式会社
 コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 阿部 雅弘

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,441	0.0	68		65		72	
2020年3月期第1四半期	2,441	20.7	99		93		114	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 36百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 102百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	11.76	
2020年3月期第1四半期	18.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,612	7,723	66.5
2020年3月期	11,277	7,791	69.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,723百万円 2020年3月期 7,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		5.00	5.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想に関しましては、新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響をふまえ、予想可能となった時点で連結業績予想とあわせて開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

現段階において新型コロナウイルス感染症の感染拡大が連結業績に与える影響を合理的に算定する事はできないと判断し、2021年3月期の連結業績予想につきましては、未定とさせていただきます。今後、業績への影響が合理的に予想することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	7,378,800 株	2020年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,185,857 株	2020年3月期	1,185,857 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,192,943 株	2020年3月期1Q	6,192,943 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、国内においては、雇用・所得環境の緩やかな改善が持続しておりましたが、昨年度後半から消費税率の引き上げによる景気の減速、また、海外においては米中貿易摩擦の長期化による影響等、不安定な世界情勢の動向も懸念される中、昨年度末からは、新型コロナウイルス感染症の拡散により国内外に大きな影響を受け、景気の先行きは極めて厳しい状況となっております。

印刷業界においては、日本国内においては印刷需要が減少するなか受注競争による単価の下落、また海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「新・中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）」二年目にあたり、「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」を経営の基本方針に掲げ、成長に向けた新たなチャレンジによる売上の拡大と効率化の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,441百万円（前年同期比100.0%）とほぼ横ばいとなりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失は68百万円（前年同期は99百万円の営業損失）となり、受取配当金等の計上はありましたが、経常損失は65百万円（前年同期は93百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は72百万円（前年同期は114百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル製品の受注確保のため既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

しかしながら、シール・ラベル製品を中心に減収となったことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,857百万円（前年同期比85.8%）となりました。また利益面については、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、セグメント損失は38百万円（前年同期は、18百万円のセグメント損失）となりました。

日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブであります。

② 中国

中国セグメントにつきましては、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司について、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内のグローバル営業部及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開をいたしました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は303百万円（前年同期比247.1%）となり、セグメント損失は0百万円（前年同期は62百万円のセグメント損失）となりました。なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。

③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD.、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. 及びサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。

また、新型コロナウイルス感染症の拡散による活動制限令及び渡航制限の影響を受けたものの、電気機器関連のパネルを中心に受注が増加し、当第1四半期連結累計期間の売上高は280百万円（前年同期比183.0%）となりました。しかしながら製造原価及び販売管理費の増加によりセグメント損失は22百万円（前年同期は13百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,612百万円となり、前連結会計年度末比335百万円増加いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金が405百万円、電子記録債権が98百万円減少いたしました。商品及び製品が148百万円、その他流動資産が618百万円増加したことによるものであります。

負債総額は3,888百万円となり、前連結会計年度末比403百万円増加いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が423百万円増加したことによるものであります。

また、純資産総額は7,723百万円となり、前連結会計年度末比67百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上並びに親会社による配当金の支払により利益剰余金が103百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は66.5%（前連結会計年度末は69.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言は解除されたものの、感染拡大の第2波への警戒感は根強く、国内外の経済活動の停滞や、消費者の行動変化による影響が不確定であるため、合理的に算定することは困難であることから未定としております。今後、業績への影響が合理的に予想することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,447,366	2,496,688
受取手形及び売掛金	3,406,845	3,001,364
電子記録債権	650,623	552,289
商品及び製品	668,763	817,087
仕掛品	89,202	87,627
原材料及び貯蔵品	112,837	118,310
その他	142,189	760,988
貸倒引当金	△339	△390
流動資産合計	7,517,490	7,833,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,622,586	2,614,227
減価償却累計額	△1,770,532	△1,772,501
建物及び構築物(純額)	852,054	841,726
機械装置及び運搬具	2,418,532	2,390,721
減価償却累計額	△1,991,169	△1,986,226
機械装置及び運搬具(純額)	427,363	404,495
工具、器具及び備品	234,618	232,713
減価償却累計額	△185,724	△186,807
工具、器具及び備品(純額)	48,894	45,905
土地	1,282,457	1,279,838
リース資産	60,681	59,832
減価償却累計額	△34,243	△34,814
リース資産(純額)	26,437	25,017
建設仮勘定	14,937	2,770
有形固定資産合計	2,652,144	2,599,753
無形固定資産		
のれん	164,568	155,591
ソフトウェア	6,330	6,719
ソフトウェア仮勘定	19,080	20,672
無形固定資産合計	189,978	182,983
投資その他の資産		
その他	947,100	1,025,296
貸倒引当金	△29,672	△29,655
投資その他の資産合計	917,428	995,641
固定資産合計	3,759,551	3,778,378
資産合計	11,277,041	11,612,343

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,487,770	2,911,515
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	24,831	10,531
賞与引当金	92,000	52,396
その他	203,330	260,743
流動負債合計	2,907,932	3,335,187
固定負債		
長期借入金	400,000	375,000
退職給付に係る負債	153,051	147,533
その他	24,555	30,865
固定負債合計	577,607	553,398
負債合計	3,485,540	3,888,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,482,924	4,379,091
自己株式	△1,013,866	△1,013,866
株主資本合計	7,597,759	7,493,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	229,639	303,668
為替換算調整勘定	△35,897	△73,837
その他の包括利益累計額合計	193,742	229,831
純資産合計	7,791,501	7,723,757
負債純資産合計	11,277,041	11,612,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,441,746	2,441,358
売上原価	2,057,962	2,057,035
売上総利益	383,783	384,323
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	196,863	188,097
賞与引当金繰入額	34,811	33,057
退職給付費用	11,608	11,692
福利厚生費	41,632	39,565
その他	198,720	180,435
販売費及び一般管理費合計	483,636	452,848
営業損失(△)	△99,852	△68,525
営業外収益		
受取利息	811	623
受取配当金	13,245	12,576
貸倒引当金戻入額	5,731	16
その他	2,135	2,498
営業外収益合計	21,923	15,714
営業外費用		
支払利息	-	1,154
賃貸建物減価償却費	136	136
為替差損	14,828	6,937
その他	269	4,746
営業外費用合計	15,234	12,975
経常損失(△)	△93,163	△65,786
特別利益		
固定資産売却益	631	-
特別利益合計	631	-
特別損失		
固定資産処分損	-	1,083
投資有価証券評価損	25,765	-
特別損失合計	25,765	1,083
税金等調整前四半期純損失(△)	△118,297	△66,869
法人税、住民税及び事業税	2,000	2,500
法人税等調整額	△6,087	3,498
法人税等合計	△4,087	5,998
四半期純損失(△)	△114,210	△72,867
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△114,210	△72,867

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△114,210	△72,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	829	74,029
為替換算調整勘定	10,712	△37,940
その他の包括利益合計	11,542	36,089
四半期包括利益	△102,668	△36,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,668	△36,778
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,165,688	122,774	153,282	2,441,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	218,410	290,388	2,052	510,850
計	2,384,098	413,163	155,335	2,952,597
セグメント損失(△)	△18,705	△62,361	△13,464	△94,531

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△94,531
セグメント間取引消去	△5,320
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△99,852

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,857,365	303,435	280,558	2,441,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	425,277	662,728	4,081	1,092,087
計	2,282,642	966,164	284,639	3,533,446
セグメント損失(△)	△38,989	△268	△22,598	△61,857

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△61,857
セグメント間取引消去	△6,668
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△68,525

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社の工場閉鎖)

当社は、2020年7月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社でありますサンコウサンギョウ（バンコク）C.O.，L.T.D.の製造工場（以下「タイ工場」といいます。）を閉鎖し、販売会社化することを決議いたしました。

(1) タイ工場閉鎖の理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、得意先様の工場稼働停止、また弊社工場においても部分稼働の状況が続く中、今後の需要も不透明な状況であり、事業環境は非常に厳しいものとなっております。

現在に至るまで、受注獲得に向けた積極的な営業展開並びに業務効率化、各種費用削減など様々な対応を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化が予想される中、より強固な経営基盤の確立と成長戦略を実行すべく、商社ビジネスに注力するためタイ工場を閉鎖し、販売会社とすることといたしました。

(2) タイ工場の概要と閉鎖の時期

- | | |
|---------|---------------|
| ① 所在地 | タイ王国パトゥムターニー県 |
| ② 事業内容 | 特殊印刷製品の製造 |
| ③ 閉鎖の時期 | 2020年12月末（予定） |

(3) 当社業績に与える影響

タイ工場閉鎖については、経済補償金等の特別損失の発生を想定しておりますが、詳細につきましては現在精査中であります。

(連結子会社の解散及び清算)

当社は、2020年7月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社でありますサンコウサンギョウ（ベトナム）C.O.，L.T.D.（以下「ベトナム子会社」といいます。）の解散及び清算を決議いたしました。

(1) ベトナム子会社解散及び清算の理由

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、得意先様からの需要の減少等、事業環境は非常に厳しいものとなっております。今後、安定的な収益を確保することが困難であるとの判断に至り、解散及び清算することを決定いたしました。

(2) ベトナム子会社の概要

- | | |
|----------|----------------------------|
| ① 名称 | サンコウサンギョウ（ベトナム）C.O.，L.T.D. |
| ② 所在地 | ベトナム社会主義共和国ハノイ市 |
| ③ 代表者の氏名 | General Director 小川雅也 |
| ④ 資本金 | 265千US\$ |
| ⑤ 事業内容 | ラベル・パネル等の販売 |
| ⑥ 出資比率 | 当社 100% |

(3) ベトナム子会社解散及び清算の日程

- | | |
|------------|-------------------------|
| 2020年7月14日 | 当該連結子会社の解散決議 |
| 2020年12月下旬 | 当該連結子会社の臨時株主総会により決議（予定） |
| 2020年12月末日 | 解散（予定） |
| 2021年3月末日 | 清算終了（予定） |

(4) ベトナム子会社の状況（2019年12月31日現在）

- | | |
|------|---------|
| 資産総額 | 7,928千円 |
| 負債総額 | 1,370千円 |

(5) 当社業績に与える影響

ベトナム子会社の解散及び清算については、経済補償金等の特別損失の発生を想定しておりますが、詳細につきましては現在精査中であります。

(6) ベトナム子会社の解散及び清算による営業活動等への影響

当該連結子会社の解散及び清算に伴う営業活動等への影響は軽微であります。